

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市水とみどりの審議会		
事務局 (担当課)		水みどり環境課 電話042-769-8242 (直通)		
開催日時		令和8年3月16日(月) 14時00分～15時30分		
開催場所		エコパークさがみはら2階 学習室		
出席者	委員	9人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	7人(市長、水みどり環境課長 他5人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1. 開会 2. 議題 (1)【諮問】第3次相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略の策定について 3. その他 (1)2027年国際園芸博覧会について (2)木もれびの森保全・活用計画の改訂及び整備・管理計画の策定について 4. 閉会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり

1 開会

2 議題

(1) 【諮問】第3次相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略の策定について

本村市長より、第3次相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略の策定について、諮問が行われた。その後、資料1を基に、事務局から説明が行われた。

(松井委員)

東京都では2025年に「東京都の保護上重要な野生生物の戦略的保全方針」を策定しており、野生生物の保護という目的達成のために、かなり踏み込んで策定したと伺っている。本市の次期計画を実効性あるものとしていく上で、参考になる部分があると思ったので共有させていただく。

(事務局)

環境保全等を推進していく取組については、市内部の検討材料だけでは難しい部分があると思っているので、計画策定に向けては他市の事例等も参考にしながら協議等を進めることで幅広い取組を規定できると考えている。一方で、地域性という観点も重要であるので、本市の実情に即した計画となるようにしたい。

(平野副会長)

実績報告の際にも指摘させていただいたが、現計画の基本目標4の成果指標である「都市緑化に関する講習会等への参加者数」については、検討する必要がある。72万の市民や企業がどのくらい自然環境の保全に取り組んでいるのかがわかるような指標を取り入れてほしい。

(事務局)

普段の活動とリンクしていけるような指標を設定できるよう、いろいろなご意見をいただきながら今後検討していきたい。

(眞家会長)

アンケートを実施すると説明があったが、子どもから意見聴取を行う予定はあるのか。

(事務局)

未定ではあるが、子どもの意見を聞く手法については検討していきたい。また聴取する内容についても審議会からご意見をいただきたい。

(眞家会長)

環境保全については結構な費用がかかるが、その理念に賛同し、協力いただける企業の募集などは行うのか。

(事務局)

計画の各施策を推進していくにあたっては、企業等の協力は必要になってくると考えている。また、来年度から「企業の森」という事業が開始され、市内の緑地で企業の協力によるボランティア活動等を行うことで、森づくりに関わっていただくことを予定している。保全の活動については、行政と団体だけでは進めていくことが難しいところがあるので、今後そのような仕組みづくりについて検討していきたい。

(館委員)

現計画を見たが、前計画における取組状況については2ページしか掲載がない。次期計画を策定するにあたっては、現計画の評価、検証をしっかり行ったうえで目標設定を行う必要があると考える。

(事務局)

現計画において何が課題であったのかなど、可視化して評価していくことは大切だと考えている。現計画の評価についてわかりやすくお示しすることで次の計画へのつながりが見えてくると思うので、そのようにしていきたい。また、行政の資料は字や情報量が多くわかりにくいとのご指摘もいただくので、資料の見せ方も考えていきたい。

(中嶋委員)

先ほど会長からもご意見をいただいた企業の協力であるが、商工会議所としてもいろいろ協力していけるところがあると思うので、ぜひ情報をいただきたい。

(事務局)

ありがとうございます。

(山崎委員)

各種調査を実施するとのことだが、観光という要素は検討していくのか。相模原の水とみどりは大きな魅力であり、それを発信していくことで他市から観光客が訪れると思うが、観光客が増えれば自然が壊されるということも考えていかなければならない。保全をしながら、観光していただくという共存関係を構築できると一番いいのではと考える。

(事務局)

観光については別の部門で計画を策定していることから、次期計画にどう盛り込むべきかは未定だが、冒頭の市長の挨拶にもあった「都市と自然のベストミックス」というのは本市の大きな魅力であることから、その視点も持ちつつ検討を進めていきたい。

(川島委員)

令和8年度の審議内容として、第1回に「現計画の評価・検証の手法、手順について」とあるが、第2回にある「現計画の検証結果報告」を先に行うべきであり、順番が逆ではないか。

(事務局)

今回資料に記載させていただいている手法、手順とは、市の複数部署で実施している事業を評価するにあたって、統一的な手法だったり視点を設ける必要があると考えてお

り、その部分について審議会でご議論いただきたいという内容で記載している。

(平野副会長)

現計画の目標についてはすでに計画書に記載されており、毎年実績を評価していると承知しているが、改めて検討するということか。

(事務局)

4つの目標については、令和9年度までの目標値を定め毎年実績報告をしている。またそれに基づく72の実施事業についても、令和9年度までの目標のほか、毎年目標を設定し、達成度を評価している。今回検討するのは、目標に紐づく事業を含めた総括的な評価の手法である。

(館委員)

検証の方法であるが、1回の審議で全部の項目について行うのは難しいので、分割して行っていく方が実施しやすいと考える。

(事務局)

ご意見を踏まえ、実施の方法について検討していく。

(松井委員)

都市緑地法など、次期計画策定において検討が必要な関係法令の改正状況などについてお示しいただきたい。

(事務局)

資料提供など随時行っていく。

3 その他

(1)2027年国際園芸博覧会について

事務局による説明の後、質疑応答を行った。

(山崎委員)

この審議会では何か議論を行う必要はあるのか。審議会の立場をお示しいただきたい。

(事務局)

今回は市として出展を行う旨、情報提供させていただいた。設計については現在進めているところであるが、市民参加についてなど、後日でもいいのでご提案いただけるものがあればお願いしたい。

(2)木もれびの森保全・活用計画の改訂及び整備・管理計画の策定について

事務局による説明の後、質疑応答を行った。

(川島委員)

この計画については、平野副会長など、木もれびの森に関わっている人も一緒に策定

したものか。

(平野副会長)

木もれびの森では4つの森づくりパートナーシップの団体が活動しており、それらの団体とは計画について意見交換を行った。20年後の姿までよく示された計画だと評価しているが、誰がその整備をするのかということが明示されていないところが残念である。この部分は団体、この部分は行政が行うというすみわけが必要となってくると感じている。

(川島委員)

この審議会の場で、計画の内容について議論をする段階ではないということを理解した。

(事務局)

本日は、計画を策定した旨、情報提供させていただいた。

(平野副会長)

今回策定した計画については、実効性のあるものとなっている点を評価している。毎年どこまで進んだのかが評価しやすくなっているので、他の事業についてもこういったもので評価していったほうが良いと感じる。

(山崎委員)

植樹や萌芽更新についても記載があるが、植栽する苗木の育成についてなどはまだ決まっていないのか。

(事務局)

そのとおりである。具体的なものについては団体の皆様と相談しながら決めていきたい。

(山崎委員)

雑木林として育成していく20年くらいのサイクルで伐採していくと萌芽更新しやすい。それ以上になると芽吹かなくなる。専門的な知識をいかしながら進めてほしい。ゆるやかな世代交代は判断が難しいと思うが、団体の経験や知識をいかし、ビジョンを持って進めてほしい。

(館委員)

私が所属している団体では橋本河畔林を管理しているが、ほったらかしの状態の部分もあり、カシやコナラの老木が多くなっている。枝落ちなどあった場合には管理者である県津久井治水センターに対応をお願いしているが、樹木の専門家ではないので難しい。ぜひこういった計画を策定したことを周知していただき、皆で意見交換ができればいいと思った。

(事務局)

今回こういったアクションプランを策定したことを踏まえ、次につなげていきたいと考える。

(川島委員)

この計画ができたことは市の広報紙に掲載したのか。より広く木もれびの森の魅力を伝えてほしいと感じる。

(事務局)

広報紙には掲載していないが、市の HP には載せている。周知方法はいろいろとあるので、効果的な広報について考えていきたい。

(眞家会長)

この会議の議事録の作成等については、私に一任させていただくことでよろしいか。

(各委員)

異議なし

最後に事務局より、事務連絡があり審議会を閉会した。

以 上

相模原市水とみどりの審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	眞家 永光	北里大学獣医学部 教授	会 長	出席
2	松井 久実	麻布大学獣医学部 講師		出席
3	山崎 旬	玉川大学農学部 教授		出席
4	川島 尚	公募委員		出席
5	小川 智代	特定非営利活動法人みどりのお医者さん 理事		出席
6	香田 隆芳	「小松・城北」里山をまもる会 副会長		出席
7	舘 勝敏	特定非営利活動法人境川の斜面緑地を守る会 理事		出席
8	中嶋 豊	相模原商工会議所 3号委員 (東京ガス株式会社神奈川西支店支店長)		出席
9	平野 和夫	特定非営利活動法人相模原こもれび 理事長	副会長	出席